

日本BS放送株式会社

2020年8月期 第3四半期

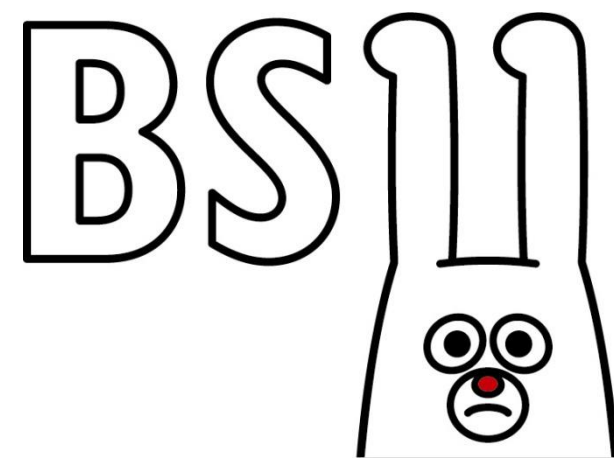
(決算補足説明資料)

2020年7月3日



東証一部 コード: 9414

I 決算概況



売上高は**8,523**百万円（前期比7.2%減）、営業利益は**1,672**百万円（前期比25.4%増）、
親会社株主に帰属する当期純利益は**1,149**百万円（前期比27%増）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2019年8月期 第3四半期 累計	2020年8月期 第3四半期累計			
		実績	前年 同期比	増減額	主な変動要因（前年比）
売上高	9,187 (100.0%)	8,523 (100.0%)	▲7.2%	▲664	【売上高】 ・放送事業収入： ▲640百万円 ・その他収入： ▲6百万円 ・その他収入（出版）： ▲17百万円 【営業利益】 ・放送事業： +336百万円 ・出版事業： ▲25百万円
売上総利益	4,428 (48.2%)	4,344 (51.0%)	▲1.9%	▲84	
営業利益	1,333 (14.5%)	1,672 (19.6%)	+25.4%	+338	
経常利益	1,334 (14.5%)	1,677 (19.7%)	+25.7%	+342	
親会社株主に帰属 する四半期純利益	905 (9.9%)	1,149 (13.5%)	+27.0%	+244	

		2019年8月期末	2020年8月期第3四半期末	
			第3四半期	前年増減額
	流動資産	12,937 (64.7%)	12,951 (62.8%)	+14
	固定資産	7,055 (35.3%)	7,675 (37.2%)	+620
資産合計		19,993 (100.0%)	20,627 (100.0%)	+634
	流動負債	2,228 (11.1%)	2,070 (10.0%)	▲158
	固定負債	98 (0.5%)	98 (0.5%)	—
負債合計		2,327 (11.6%)	2,168 (10.5%)	▲158
純資産合計		17,665 (88.4%)	18,459 (89.5%)	+793
負債・純資産合計		19,993 (100.0%)	20,627 (100.0%)	+634

2020年8月期第3四半期 総括

売上高 **8,067百万円**（前期比 7.4%減）

営業利益 **1,668百万円**（前期比 25.2%増）

- 売上高は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、広告主の広告宣伝費が圧縮され、また前期より継続して広告媒体多様化による業界環境の変化に伴い、前年を下回って推移
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、収録の見合わせ・スポーツ中継延期等で番組関連費用が前年より縮小、また広告宣伝費等の主要費用項目を適切にコントロールしたことにより、営業利益は前年を大幅に上回って推移

売上高は8,067百万円（前期比7.4%減）、営業利益は1,668百万円（前期比25.2%増）、
当期純利益は1,148百万円（前期比25.8%増）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2019年8月期 第3四半期 累計	2020年8月期 第3四半期累計			
		実績	前年同期比	増減額	主な変動要因（計画比）
売上高	8,714 (100.0%)	8,067 (100.0%)	▲7.4%	▲647	(売上高) ・タイム収入： ▲435百万円 ・スポット収入： ▲204百万円 ・その他収入： ▲6百万円
売上総利益	4,204 (48.2%)	4,125 (51.1%)	▲1.8%	▲78	(段階利益) ・売上高未達ながらも、費用の効率的運用により増益
営業利益	1,332 (15.3%)	1,668 (20.7%)	+25.2%	+336	《利益増加の具体的要因》 売上原価： ・良質な番組制作と人気番組の購入のバランスミックス、またコロナ禍における収録の見合わせ等で番組関連費用が前年より縮小し、費用減
経常利益	1,336 (15.3%)	1,675 (20.8%)	+25.3%	+339	販売管理費： ・広告宣伝の効率的な実施により広告関連費用の減少
当期純利益	912 (10.5%)	1,148 (14.2%)	+25.8%	+236	

売上区分別実績（個別）

		2020年8月期 第3四半期累計	
		実績	前年同期比
売上高		8,714 (100.0%)	8,067 (100.0%) ▲7.4%
	タイム収入	6,414 (73.6%)	5,978 (74.1%) ▲6.7%
	スポット収入	2,026 (23.3%)	1,821 (22.6%) ▲10.1%
	その他	274 (3.1%)	267 (3.3%) ▲2.5%

主な増減要因（前年対比）

■ タイム収入・スポット収入

- ・前期より継続して広告媒体多様化等による業界環境変化の影響を受けたことにより減収、また新型コロナウイルス感染拡大の影響により、予定されていた新番組、特番の放送を見合わせたため、前期と比べ減少

■ その他

- ・配当金収入、番組販売に伴う収入は、ほぼ横ばいで推移

主要費用項目実績（個別）

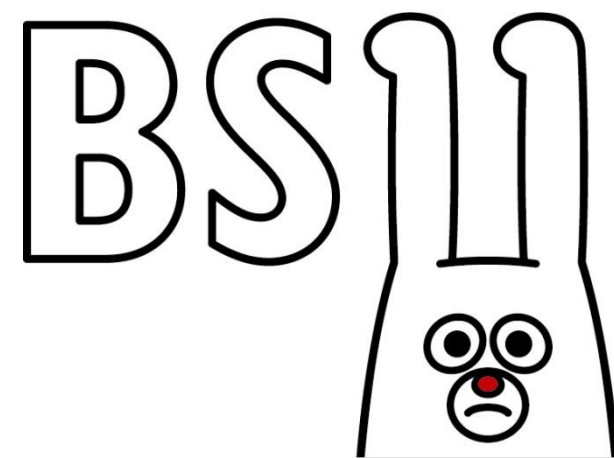
（単位：百万円、下段は売上比）

	2019年8月期 第3四半期累計	2020年8月期 第3四半期累計		
		実績	前年同期比	主要な増減要因
番組関連費用（原価）	3,130 (35.9%)	2,592 (32.1%)	▲17.1%	
番組購入費	542 (6.2%)	400 (4.9%)	▲26.1%	番組改編に伴う番組放送枠の見直し
番組制作費	2,588 (29.7%)	2,192 (27.1%)	▲15.3%	新番組の延期、特番の制作中止のため
放送関連費用（原価）	468 (5.4%)	466 (5.7%)	▲0.4%	
放送委託費	416 (4.8%)	416 (5.1%)	—	
技術費	51 (0.6%)	50 (0.6%)	▲1.9%	
広告関連費用（販管費）	951 (10.9%)	643 (7.9%)	▲32.3%	
広告宣伝費	893 (10.2%)	597 (7.4%)	▲33.1%	局認知向上施策として新聞（全国・地方）やWEB等の広告宣伝を効率的に実施
販売促進費	58 (0.7%)	46 (0.5%)	▲20.6%	

貸借対照表の概要（個別）

		2019年8月期末	2020年8月期第3四半期末		
			第3四半期	前年増減額	主な増減要因
資産	流動資産	12,161 (63.2%)	12,215 (61.4%)	+54	・現金及び預金の増加 +406百万円 ・売掛金の減少 ▲346百万円
	固定資産	7,060 (36.7%)	7,682 (38.6%)	+621	・放送設備の改修 +761百万円
	資産合計	19,222 (100.0%)	19,898 (100.0%)	+676	
負債	流動負債	1,516 (7.8%)	1,397 (7.0%)	▲119	・未払金の減少 ▲244百万円 ・未払法人税等の増加 +118百万円
	固定負債	94 (0.4%)	96 (0.5%)	+2	
	負債合計	1,610 (8.3%)	1,494 (7.5%)	▲116	
純資産合計		17,611 (91.6%)	18,404 (92.5%)	+792	・利益剰余金の増加 +792百万円
負債・純資産合計		19,222 (100.0%)	19,898 (100.0%)	+676	

Ⅱ 通期計画



売上高は**11,400**百万円（前期比9.5%減）、営業利益は**1,510**百万円（前期比10.9%減）、
親会社株主に帰属する当期純利益は**1,020**百万円を計画（前期比12.0%減）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2019年8月期		2020年8月期				
	第3四半期 累計	通期	第3四半期累計		通期計画		
			実績	前年同期比	計画	前年同期比	増減額
売上高	9,187 (100.0%)	12,601 (100.0%)	8,523 (100.0%)	▲7.2%	11,400 (100.0%)	▲9.5%	▲1,201
営業利益	1,333 (14.5%)	1,693 (13.4%)	1,672 (19.6%)	+25.4%	1,510 (13.2%)	▲10.9%	▲183
経常利益	1,334 (14.5%)	1,698 (13.5%)	1,677 (19.7%)	+25.7%	1,510 (13.2%)	▲11.1%	▲188
親会社株主に帰属 する当期純利益	905 (9.9%)	1,158 (9.2%)	1,149 (13.5%)	+27.0%	1,020 (8.9%)	▲12.0%	▲138

※修正後の計画値を使用

売上高は**10,700**百万円（前期比9.2%減）、営業利益は**1,500**百万円（前期比6.9%減）、
当期純利益は**1,020**百万円を計画（前期比6.6%減）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2019年8月期		2020年8月期				
	第3四半期 累計	通期	第3四半期累計		通期計画		
			実績	前年同期比	計画	前年同期比	増減額
売上高	8,714 (100.0%)	11,792 (100.0%)	8,067 (100.0%)	▲7.4%	10,700 (100.0%)	▲9.2%	▲1,092
タイム収入	6,414 (73.6%)	8,658 (73.4%)	5,978 (74.0%)	▲6.7%	7,930 (74.1%)	▲8.4%	▲728
スポット収入	2,026 (23.3%)	2,762 (23.4%)	1,821 (22.6%)	▲10.1%	2,488 (23.2%)	▲9.9%	▲274
その他	274 (3.1%)	372 (3.2%)	267 (3.3%)	▲2.5%	282 (2.6%)	▲24.1%	▲90
営業利益	1,332 (15.3%)	1,612 (13.7%)	1,668 (20.7%)	+25.2%	1,500 (14.0%)	▲6.9%	▲112
経常利益	1,336 (15.3%)	1,621 (13.7%)	1,675 (20.8%)	+25.3%	1,500 (14.0%)	▲7.4%	▲121
当期純利益	912 (10.5%)	1,093 (9.3%)	1,148 (14.2%)	+25.8%	1,020 (9.5%)	▲6.6%	▲73

※修正後の計画値を使用

2020年8月期は、期末配当金 20.0円を計画

配当政策の基本方針

- ・ 当社は、BSデジタル放送事業者という高い公共性に鑑み 永続的且つ健全な経営の維持に努めるとともに、財務体質の強化と内部留保の充実を考慮しつつ、将来の事業展開等を総合的に勘案した上で、長期にわたり**安定した**利益配当を**継続的に**実施する方針です。
- ・ **年1回**の期末配当を行うことを基本とします。

年間配当金

	2015年 8月期	2016年 8月期	2017年 8月期	2018年 8月期	2019年 8月期	2020年 8月期 (予想)
年間配当	15.0 円	17.0 円	18.0 円	19.0 円	20.0円	20.0円
普通配当	13.5 円	17.0 円	18.0 円	19.0 円	20.0円	20.0円
記念配当	1.5 円	0 円	0 円	0 円	0円	0円
1株当たり当期純利益	68.34 円	82.04 円	85.27 円	93.19 円	65.08円	57.29円

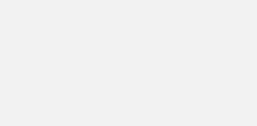
※1株当たり当期純利益の数値は、2017年8月期以前は個別、2018年8月期以降は連結で表示しております。

株主優待制度の概要

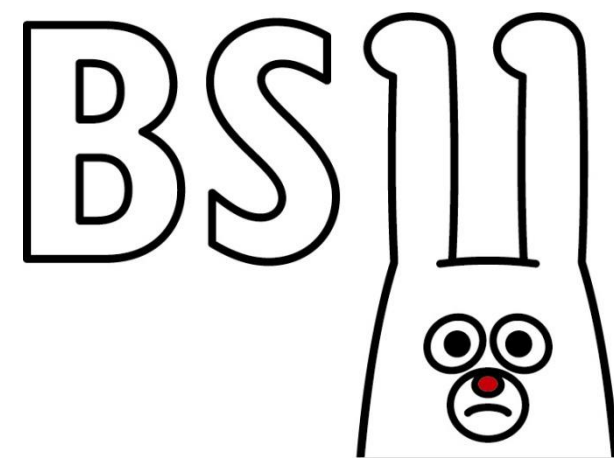
- ・ 8月末日、2月末日を基準日として、年2回の株主優待を実施
- ・ ビックカメラグループ全店で利用可能な「ビックカメラ商品券」1,000円券1枚を贈呈
- ・ 各基準日現在の当社株主名簿に記載または記録された当社株式1単位(100株)以上保有されている株主様が対象

長期保有株主優待制度の概要

- ・ 以下の2要件の両方に該当する株主様に対し、「ビックカメラ商品券」(1,000円券)を追加贈呈
 - ①基準日(毎年8月末日、2月末日)の当社株主名簿に連続3回以上同一株主番号で記載または記録されたこと
 - ②当社株式1単位(100株)以上を継続して保有されていること

基準日		2月末日	8月末日
贈呈時期		5月	11月
贈呈内容	株主優待制度	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚
	長期保有株主優待制度	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚

Ⅲ 経営施策トピックス



予定されていた特番放送の延期・中止、及び出展予定イベントが延期・中止



各スポーツ特番の延期

新型コロナウイルス感染拡大防止のため当初予定していた各スポーツ試合が延期となり、番組放送も延期、または中止となった。



各種イベントの中止・延期

政府からのイベント開催自粛要請に従い、出展予定であったイベントが中止または延期となった。

安全確保を第一優先として早期に制作体制を大幅に変更したことにより従業員・スタッフ・出演者含め罹患者ゼロ(※)

※2020年7月3日時点



「京都画報」放送開始時期延期

4月放送開始を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、撮影スケジュールに影響が出ることから、放送開始を10月に延期。



各番組の総集編・再放送対応

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、制作体制を大幅に変更。総集編・再放送での対応のほか、リモート収録により出演者及び制作スタッフの安全確保を第一優先とした。



一部アニメ番組の制作遅延

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一部の番組で制作スケジュールを見合わせる必要になったが、予定通りの枠数でアニメタイトルを毎週放送

4月番組改編



毎週金曜日 よる7時00分～



毎週木曜日 よる10時30分～



毎週月～木曜日 よる7時00分～



毎週月～金曜日 午後3時29分～

人気番組（一部）ラインナップ



毎週月曜日 よる8時00分～



毎週木曜日 よる8時00分～



毎週金曜日 よる10時00分～



毎週土曜日 よる10時00分～
(7月より毎週日曜よる10時00分～)

➤ 視聴者の皆様のニーズを捉え、番組内容を更に充実！

アニメ番組の強化

◆放送タイトル(2020年3月～2020年5月)



©あら・芳文社／野外活動委員会

ヘヴンズアリーナ



(C)FLIPFLOPS(秋田書店)／ダーウィンスゲーム製作委員会

ガンズリンガール



©2020 林田球・小学館／ドロドロ製作委員会

どろろ



©アニメ「プリンセスコネクト! Re:Dive」製作委員会

プリンセスコネクト! Re:Dive

コロナ禍でも各社と協力しアニメ放送を継続

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一部の番組で制作スケジュールを見合わせるようになったが、予定通りの枠数でアニメタイトルを毎週放送

◆子ども向けアニメ枠「キッズアニメ∞」

2020年7月以降も継続してアニメを強化



© 2015 ZAGTOON™-METHOD™ - TOEI ANIMATION - ALL RIGHTS RESERVED



(C) 東映アニメーション

4月より、子ども、親、祖父母と3世代でご覧頂けるキッズ向けアニメ枠「キッズアニメ∞」を毎週金曜19時～1時間枠で新設。第1弾として4月より毎週金曜19時に「ミラキュラス レディバグ & シヤノワール」をBS初放送。6月15日からは、毎週金曜19時30分に『おジャ魔女どれみ』 セレクション』を放送。

アニメ関連番組の強化



◆「アニゲー☆イレブン！」

4月より新MCに声優・和氣 あず未 を迎え、「癒し」を番組テーマにリニューアル



◆アニソン番組「Anison Days」

感染拡大防止対策として、当社スタジオにてリモート収録



◆4月開始の新アイドル番組「虹のコンキスタドールが本気出しました?!」

アイドルグループ“虹のコンキスタドール”(通称: 虹コン) による冠番組をキングレコードと共同制作で放送



ローカル局とのコラボ

◆KBS京都と共同制作



◆各ローカル局とのコラボ制作



◆全国ローカル局12局と共同制作



➤ ローカル局とのコラボレーションを積極的に実施

番組の書籍化

◆「北斎ミステリー～幕末美術秘話 もう一人の北斎を追え～」を書籍化



日本民間放送連盟賞の番組部門〔テレビエンターテインメント番組〕の最優秀賞作品「北斎ミステリー～幕末美術秘話 もう一人の北斎を追え～」を書籍化



北斎になりすました女 葛飾応為伝
(著) 壇 乃歩也 (刊) 講談社
2020年3月より 全国書店にて発売中

好評につき重版決定！！

ビックカメラグループとのシナジー

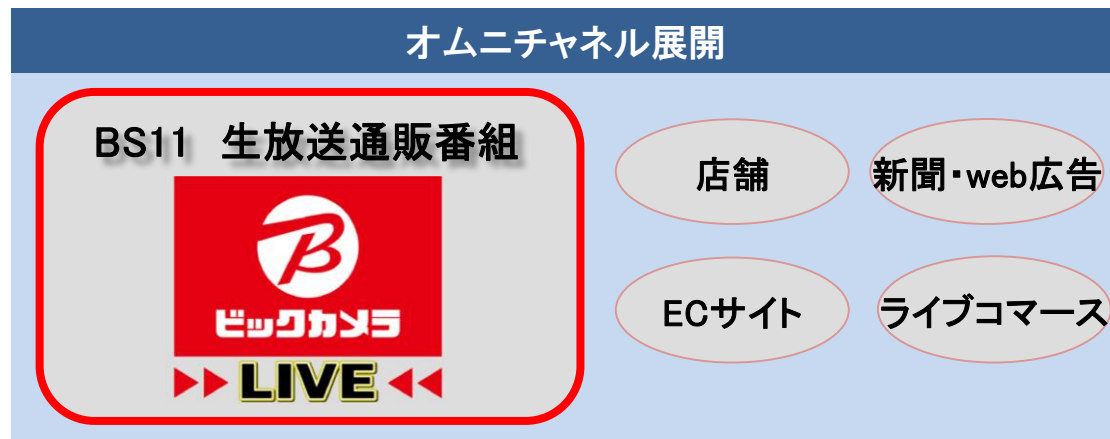
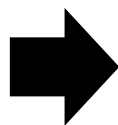
◆ビックカメラグループによるオムニチャネル展開

ビックカメラの生放送通販番組「ビックカメラLIVE」を4月25日(土)11時～、14時半～、17時半～計3回放送。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、一部店舗では営業時間を短縮する中、グループシナジーを活かして生放送通販番組を放送し経済活動活性化に貢献。



BS11CM内でも通販CMを放送



◆CM制作

クライアントの希望する商品CMを制作しBS11番組内にて放送。さらに、番組・ビックカメラ公式Twitterから拡散。店舗への誘導を図った。



『アニゲ★イレブン』およびLynn声優出演のアニメ番組で放映



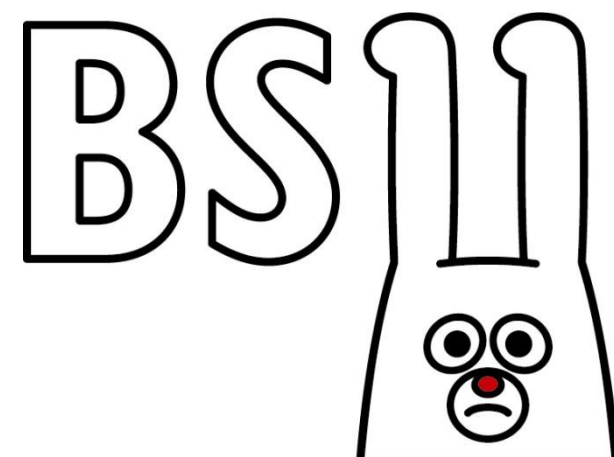
番組/ビックカメラ/キャラクター制作者 ツイッターアカウントで告知



ビックカメラ GAMING ZONEで放映
⇒ビックコンタクトへ誘導

➤ グループシナジーを最大限活用した“差別化”戦略

Ⅲ （ご参考）会社概要



会社概要

本社	東京都千代田区神田駿河台二丁目5番地
事業内容	全国無料のBSハイビジョン放送“BS11”チャンネルの運営
代表者	代表取締役会長 兼 CEO 齋藤 知久 代表取締役社長 兼 COO 小野寺 徹
設立	1999年8月
資本金	4,183,198千円（2019年8月31日現在）
従業員数	117名（連結）（2019年8月31日現在）

沿革

1999年8月	株式会社ビックカメラにより、衛星放送の番組及び普及に関する調査研究を目的として設立
2000年12月	BSデジタルデータ放送開始
2004年9月	東経110度CSデジタル放送開始
2007年12月	BSデジタルハイビジョン放送（BS11）開始
2010年 4月	一般社団法人日本民間放送連盟に入会
2010年11月	株式会社ジュピターテレコム（J:COM）において再送信開始
2011年10月	接触率調査（BSパワー調査）に参加
2014年3月	東京証券取引所市場第2部へ上場
2015年3月	東京証券取引所市場第1部へ上場
2018年1月	理論社・国土社の株式を100%取得し完全子会社化

コーポレートガバナンスの基本的な考え方

当社は、国民共有の希少資源である電波を預かる放送事業者として公共的使命と社会的責任の重要性を深く認識しています。

「質の高い情報を提供することで人々に感動を与え幸せな社会づくりに貢献します」という経営理念のもと、企業の持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るため、実効性のあるコーポレートガバナンスを実現してまいります。

全国どこでも無料で見られるBS放送局の運営

BS放送のチャンネル(全国)															
無料/ 有料	有料		無料					有料						無料	
リモコン	1	2	4	5	6	7	8	9	9	9	10	10	10	11	12
放送局名	NH K (BS 1)	NH K (BS プレミアム)	BS 日テレ	BS 朝日	BS TBS	BS テレ東	BS フジ	WOWOWプライム	WOWOWライブ	WOWOWシネマ	スターチャンネル1	スターチャンネル2	スターチャンネル3	当社	Twelve
														BS11	

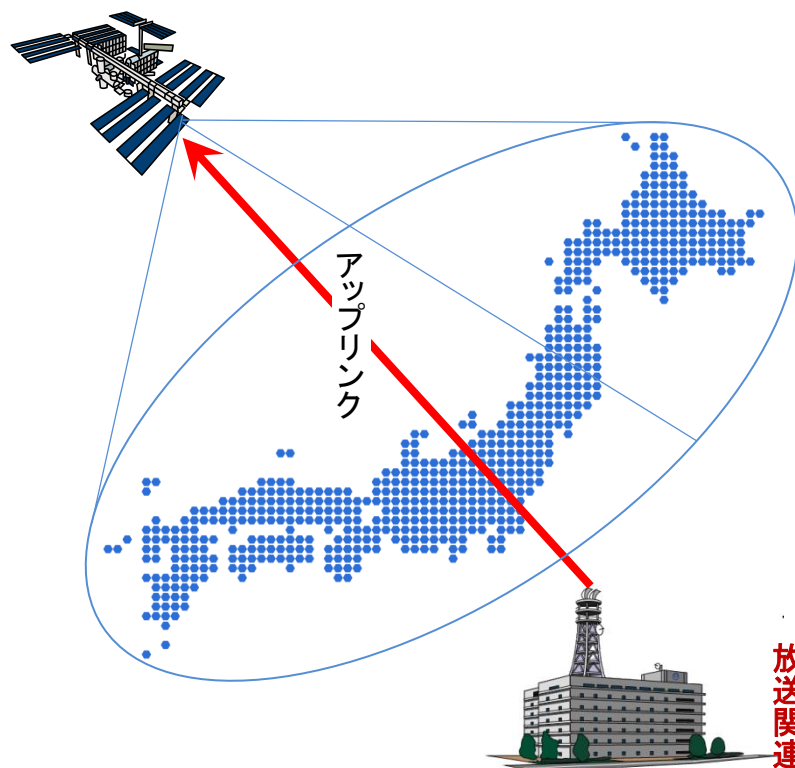
【地上波とは全く異なるコスト構造により高効率の広告ビジネスを実現】

◆地上波に比べ低コストでの放送 ⇒ 効率的な広告費で日本全国に放送可能

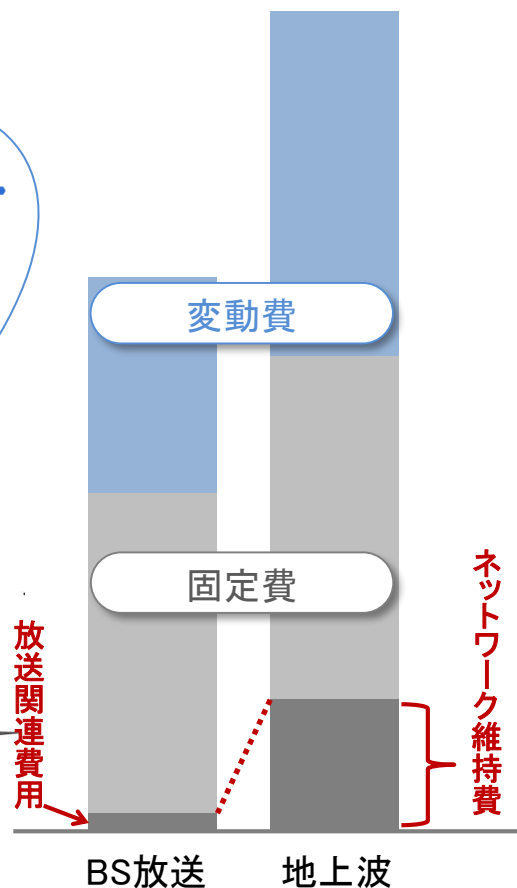
無料BS放送

コスト構造の比較

キー局系列の地上波放送



- ・日本全国に電波の送信が可能
- ・ネットワークの構築が不要



- ・少数チャンネル地域の存在
- ・嵩むネットワーク維持費

- ❑ 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ❑ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ❑ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。
その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営戦略局 経営戦略部

TEL 03-3518-1900

URL <http://www.bs11.jp/>

